

2.2.3 住民参加型での対策の取組

住民のモチベーションを喚起するためには、住民の取り組みに対して何らかの具体的な評価を行うことで、活動を継続する励みとなる仕組み作りが有効である。

また、継続的な取り組みには、地域住民の積極的な協力・協働活動が有るか否かが重要な要素となるが、意識の高い住民やNPO以外の大多数の住民は問題意識が低かったり、あるいは問題意識が高い住民も具体の取り組みを行っていない(何をすればいいのかわからない)場合がある。住民が参画する「きっかけ作り」も、行政の重要な役割として挙げられる。

<解説>

(1) 地域の活動に対して地域通過により価値を位置付けた事例

やまぐちの豊かな流域づくり構想（榎野川モデル）では、地域住民のボランティア活動を評価し、また自営業等でボランティア活動にあまり参加できなくとも、協力店等の形で活動を支援できるように、地域通貨を活用しています。

ただし、このようなシステムを行政からの支援により立ち上げた場合の多くで、支援終了後の自立に課題が生じています。自立した継続的な活動を創出するためには、支援を開始する段階で、明確に支援期間・規模を示すとともに、自立に向けての具体計画・実現性について十分に協議することが重要です。



図 2-23 地域通過の事例(やまぐちの豊かな流域づくり構想(榎野川モデル)関連資料)



図 2-24 地域通貨の協力店マップ(やまぐちの豊かな流域づくり構想(榎野川モデル)関連資料)

(2) 住民協働でモニタリングや情報交換を行っている事例

印旛沼流域水循環健全化緊急行動計画では、モニタリング活動に住民の誰もが参加できる体制を整え、さらにホームページ上で住民の情報をとりまとめてマップ表示し、参画のモチベーションを向上させる試みを行っています。

いんばぬま情報広場 | ご意見 | サイトマップ |

ホーム > モニタリングとデータの公開 > 市民参加型モニタリング > アオコ発生状況調査

印旛沼と流域の紹介

水循環健全化会議

水質改善技術検討会

イベント

緊急行動計画

みためし行動

モニタリングとデータ公開

- ▶ 現地モニタリング調査
 - ・現地調査の概要
 - ・河川流量調査
 - ・降雨時河川水質調査
 - ・一斉流量水質湧水調査
 - ・谷津調査
- ▶ 市民参加型モニタリング
 - ・アオコ発生状況調査
 - ・見透視度調査
 - ・利用実態調査
- ▶ 印旛沼データバンク
- ▶ インバダス(仮)

市民団体紹介とリンク

アオコ発生状況調査にご参加下さい!!

印旛沼流域水循環健全化会議では緊急行動計画の達成に向けた調査の一環として市民と行政が一体となったアオコ発生状況調査を行っております。
この調査は市民の皆さまから行政や専門家の方まで、**どなたでもご参加いただけます。**

〇いつ?
→アオコを見つけたらいつでもOK!

〇どこで?
→印旛沼および流入河川全域が対象となります。

〇どうしたらよいの?

1. アオコの発生を発見する。
2. 以下の専用記録用紙をダウンロードし、発生の記録を記入。
3. FAXにて送信する。
(送信先: 千葉県印旛地域整備センター、FAX: 043-485-3759)

〇どうなるの??
→健全化会議にてとりまとめてご報告いたします。

〈アオコ発生記録用紙はこちらからダウンロードできます〉

ご不明な点がございましたら**事務局**までお問い合わせ下さい。

ご協力、よろしくお願ひ申し上げます。

図 2-25 住民協働によるモニタリング事例(千葉県ホームページ「いんばぬま広場」より引用)

■アオコ発生状況

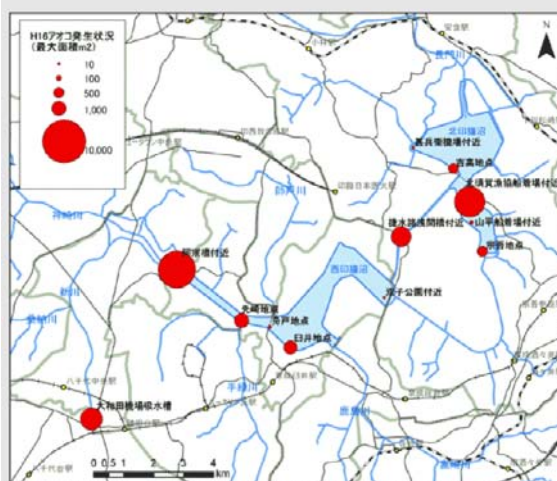
平成16年から市民や各団体の皆様に参加いただいて、アオコの発生状況を調査しています。

アオコの発生は、6月から9月にかけて各地点で報告されています。

地点	発生期間											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
① 酒直水門・用水路												
② 吉高地点												
③ 吉高観測所												
④ 甚兵衛橋船着場												
⑤ 甚兵衛橋場付近												
⑥ 北須賀漁協船着場付近												
⑦ 捷水路法間橋付近												
⑧ 双子公園付近												
⑨ 瀬戸観測所												
⑩ 白井地点												
⑪ 舟戸地点												
⑫ 舟戸観測所												
⑬ 山平船着場付近												
⑭ 宗吾地点												
⑮ 先崎地点												
⑯ 阿宗橋付近												
⑰ 大和田橋場吸水槽												

●H16年のアオコ発生状況

H16年は、8月下旬から9月上旬にかけて多くの地点でアオコの発生が見られました。



●H17年のアオコ発生地点

6月中旬から8月中旬の3ヶ月間にアオコの発生が見られました。

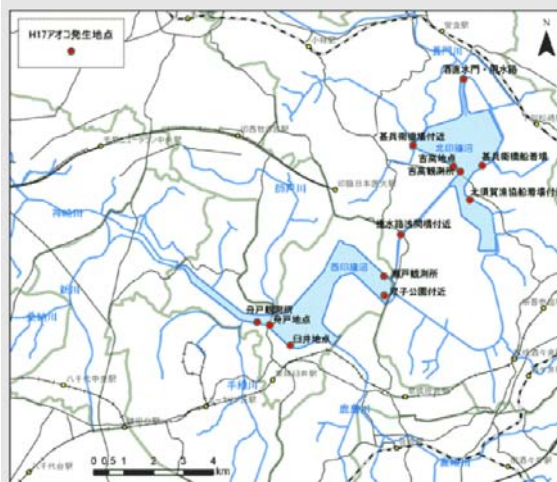


図 2-26 ホームページへの表示事例(千葉県ホームページ「いんばぬま広場」より引用)